

# 山間地の茶

## 育まれるこの町で

●全国から集まる「おらが町」の自慢の茶

「(農) あすなると、うちは良きライバル。これからも追いつけ追い越せの気持ちで、ともに良なお茶を作っていきたい」

11月10日、石川県知事への農林水産大臣賞受賞報告の席上、小坂博志さん(農事組合法人わらやま代表)の言葉である。

茶業者の祭典「第60回全国お茶まつり静岡大会」

### 今月の表紙

#### 夜っぴとい神楽 「火の舞」

11月18日、徳山コミュニティーセンターで行われた第3回夜っぴとい神楽です。

会場となった館内は、町内外からの来場者で超満員。町内からは徳山古典芸能保存会と梅津神楽保存会が参加し、それぞれの伝統の舞いを披露しました。

表紙の写真は、夜も深まり始めた9時頃、屋外で行われた「火の舞(徳山古典芸能保存会)」での1枚です。実は直前までお茶まつりの写真を表紙に使う予定でしたが、あまりに良い写真が撮影できたため、急遽差し替えさせていただきました。

4人の舞い手が火を持ち、一心不乱に舞う姿は、ある種、神々しさまで感じられ、火を力強く振り回すシーンでは、ひととき高い歓声と、この日一番の拍手が送られていました。

記事の詳細は来月号でお伝えする予定です。取り急ぎ速報記事ということで。



## 12月号 目次

- ◆全国お茶まつり特集・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆トピックス：行政改革大綱・・・・・・・・・・・・ 9
- ◆感想文特選作品紹介 町民読書感想文コンクール・・ 10
- ◆くらしのカレンダー・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- ◆役場の窓辺から・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ◆まちの話題・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- ◆生涯学習のひろば・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ◆くらしの情報・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ◆みんなの広場・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ◆学校レポーター'sコラム・・・・・・・・・・・・ 32



が11月10日、11日、当町を会場に華々しく開催され、県内外からの来場者であふれた。

静岡県では3年ぶりの開催、当町のような山間地での開催は初の試みとなる。

大井川の清流、周囲の山々が育んだ銘茶「川根茶」の産地から、山間地の茶の魅力を全国に向けて広く発信した。

10日、中中体育館では全国茶品評会入賞者に褒章が授与され、入賞された方々の自信に満ちた誇らしげな顔が並ぶ。

役場周辺の会場では、全国茶品評会入賞茶の展示、県内茶産地から集まったお茶関連の物産展、創作菓子を楽しむ緑茶カフェ、川根茶五香庵での茶歌舞伎（闘茶）、一分庵では、映画「武士の一分」ロケセットを再現した日本茶インスタラクターによる茶室など、数多くのイベントが所狭しと繰り広げられ、約2万1千人の来場者がお茶の大イベントに酔いしれた。

山間地の茶が育まれる、ここ川根本町から発信されたお茶の魅力は、人と人とのつながりに乗って全国に広がっていく。

それはまるで、口の中いっぱい広がっていく、芳醇なお茶の香りに似て・・・。



今年度、全国茶品評会で農林水産大臣賞を受賞した農事組合法人あすなろ（代表…小林基さん）と、農事組合法人わらやま（代表…小坂博志さん）が、全国茶まつり会場にて石川県知事に受賞の報告をしました。

両組合とも標高500メートルほどの高地に位置する茶園ながら、組合員が良く団結し、茶園管理・運営に取り組んでいます。

お互いが良きライバルとして、今後もお茶を作っていきたいと知事と歓談しました。写真左側が両組合の代表（左…小林基さん、右…小坂博志さん）